

# 第28回

# うつのみやこども賞だより

平成23年度4回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『大盛りワックス虫ボトル』

魚住直子／作（講談社）

『ドラゴニア王国物語』

みおちづる／作（角川書店）

～読んだ本の感想より～

- 公平と三輪と日比野の関係がよくて、面白かったです。来年読書感想文の本にしたいです。
- 読みながら笑っていました。「〇〇だよ～ん」という言い方がとても面白かったです。友達にすすめたいと思いました。
- 中2男子3人は文化祭のお笑いステージに挑んで、人を1000回笑わせるのか、ワクワクしてたまりませんでした。
- 「人を千回笑わせる」ことに成功したことが、本当にすごいし、感動しました。今の日本は笑顔が減っているのが事実なので、この本と出会い、私も「人を千回笑わせる」んだとそう決意しました。

- コーハーの「よ～ん」がおもしろかった。
- この本の続きが読みたくなった。そして日比野ちゃんと三輪ちゃんと江藤くんがまた『アマチュアお笑いフェスタ』に出られて、良かった！



●リンディとアッシュの友情にとっても感動しました。どんなことがあっても一生けんめい乗りこえていくリンディとアッシュの勇ましさ、お互いを思いやる優しさで感動しました。もう1度よみたいです！

●リンディが一生懸命走る姿に感動しました。ゼオンやアッシュがいて、リンディはいい仲間を持っているなと思いました。

●ドラゴニア王国に平和がもどって良かった。リンディがくじけずに、王竜の卵を届けたことで世の中が変わるなんてスゴイことだと思いました。

●女では無理といわれていた「走り屋」なのに、リンディが、ムランからわたされた荷のために走った所がおもしろかったです。

●アッシュが〇〇だったことにびっくりした。リンディのためにアッシュとゼオンが手伝ってくれるところがよかった。

『女王さまがおまちかね』 菅野雪虫／作（ポプラ社）

●3人の感想文から始まった大ぼうけんが、友情を強くして行って感動した。

●物語のこうせいがとてもおもしろかったです。最初は女王さまはやさしい人だと思っていましたが、本当は〇〇しているところがびっくりしました。ゆい、荒太、現のぼうけんが楽しかったです。

●友達にもしょうかいたいと思った。

●ゆいが好きな本「マヤ」を、作者がかく手助けをするために女王のもとに行って、「マヤ」をかんせいさせたのが良かった。

『夜の欧羅巴』 井上雅彦／作（講談社）

●大公と戦うところがすごくおもしろかった。

●商店街とヨーロッパがつながっているところがおもしろかった。

●レイとココの冒険は、怖いけれど不思議で物語にひきこまれました。レイとココの友情とレイの「なにがなんでもミラルカの本を妖魔から守る」という思いに心があたたまりました。

●ふしぎなことがいっぱいできどきわくわくして、とても楽しい本だった。“きり”や、そのほかのようまたちがこわかった。